

2024年12月4日  
日本ガスライン株式会社

### 液化 CO<sub>2</sub> の連続的な輸送実証試験の開始

日本ガスライン株式会社（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：邑松泰宏）は、安全な液化 CO<sub>2</sub> の大量・長距離船舶一貫輸送技術の開発を目指した NEDO<sup>\*1</sup> 事業<sup>\*2</sup> の共同受託者の 1 者として、1962 年の創業以来長年に亘り培って参りました内航ガス船の運航ノウハウを活用し、液化 CO<sub>2</sub> 輸送実証船「えくすくうる」の運航・管理と共に同船を使った液化 CO<sub>2</sub> の輸送実証試験を担っています。

弊社は、NEDO 事業で研究開発された船舶による低温・低圧での液化 CO<sub>2</sub> の輸送実証試験が可能な船用タンクシステムを組み込まれた「えくすくうる」の昨年 11 月の竣工後、円滑な輸送実証試験に向け、同船の性能確認、及び乗組員の習熟訓練を行い、本年度より同船を使った部分的な輸送実証試験を開始しておりましたが、他の共同受託者による本年 11 月末の両陸上基地（舞鶴基地及び苫小牧基地）の完成を契機として、共同受託者と共に本格的に連続的な液化 CO<sub>2</sub> の輸送実証試験を開始致しました。

輸送実証試験では、既に-50°C程度の液化 CO<sub>2</sub> の使用も開始しておりますが、弊社は今後も NEDO 事業において「えくすくうる」を使った様々な状態の液化 CO<sub>2</sub> の輸送実証試験を通し、取得した膨大な計測値のデータベース化を行い、それらを整理・分析することで船舶による最適な液化 CO<sub>2</sub> の輸送・荷役技術や手法の開発に従事してまいります。

\*1 NEDO：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

\*2 NEDO 事業：CCUS 研究開発・実証関連事業／苫小牧における CCUS 大規模実証試験／CO<sub>2</sub> 輸送に関する実証試験／CO<sub>2</sub> 船舶輸送に関する技術開発および実証試験

【当日の様子】



・舞鶴基地での完成式典の様子  
舞鶴市長 鴨田 秋津様 並びに  
日本CCS調査株式会社  
代表取締役社長 中島俊朗様 より  
当社岩間船長および千葉機関長へ花束を贈  
呈頂きました。

・舞鶴基地に着岸する「えくすくうる」



・苫小牧基地に着岸する「えくすくうる」



・苫小牧基地で荷役中の「えくすくうる」  
苫小牧基地において舞鶴基地で積載した  
液化CO<sub>2</sub>を荷揚しました。

写真提供：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構・山友汽船株式会社

【本件に関するお問い合わせ先】

日本ガスライン株式会社

企画部

TEL：03-5148-8855